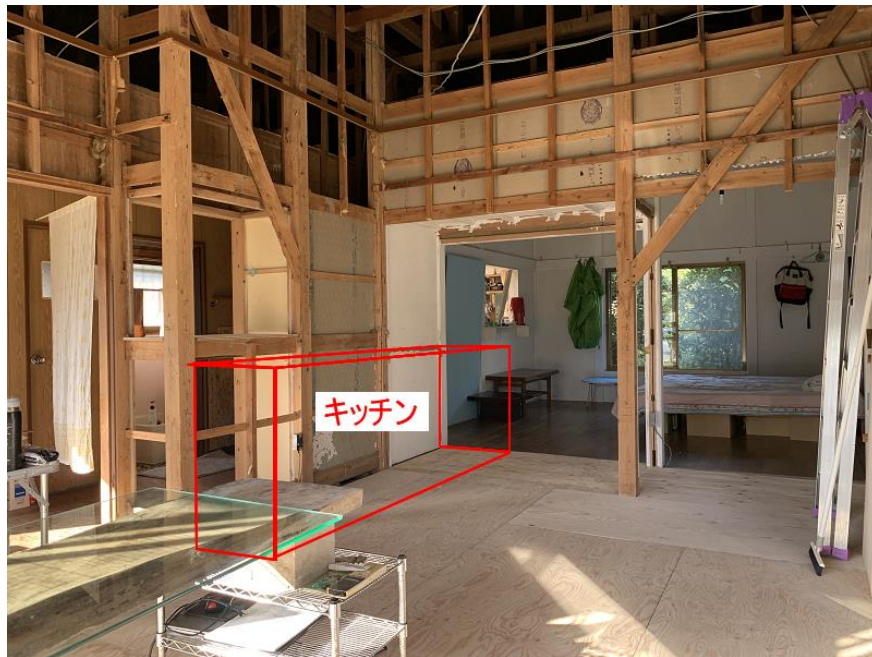


さー やっここまできました



押入れ抜いて北側の部屋とつなげて大まかな骨格がみえてきたぞ
とった筋交いは付け替えと構造用合板でのちのち補強します



ああ 陽ざしだあ



放置してあった木の板とガラス板でそくせきテーブル

さー 今日のはのむぞー



千葉の田んぼは9月早々に刈入れをして
お彼岸にはもう稲田です

季節はすっかり冬になりました

ついこないだまで汗だくで働いていたのに、いまはほんのり汗ばむ程度です

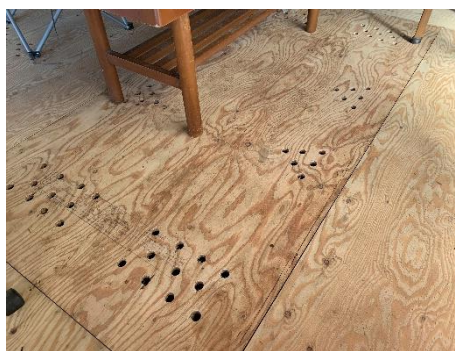
家のほうも冬支度に余念なく、ただでもらった梱包マットで断熱し、ただでもらった養生用のプラダンで仮壁はりをして、夜間は南と北の部屋を仕切って暖房費を節約しています



日中は暖房いらずで
9時半から18時まで
太陽光だけで十分暖
かく
開放的にすごしてい
ます



夜間の暖房はおもに床下暖房で、石油ファンヒーターを床下に入れて、合板床に吹き出し穴を開けました



足元がほんのり暖かい感じです

砂利を1トン入れた床下が湿気るので乾燥にもいいかと思います





弱小な暖房が天井裏に逃げてしまうので
とりあえずタープでキャッチ

立ち上がると顔のあたりに若干ぬくもりを
感じます



冬場ひと月灯油 30 リッター(3,000 円)
くらいでいけたらいいかな



重い腰をあげて筋交いもいれました



家のことばかりで
はありません

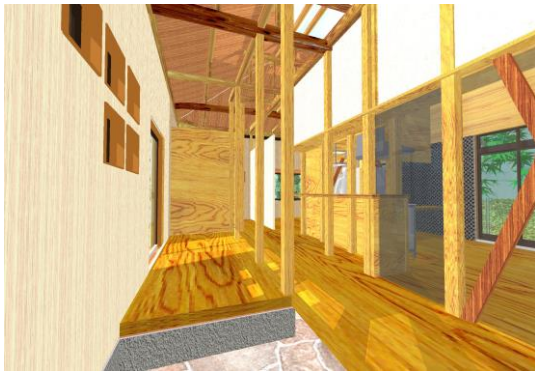
ひと夏で枝が一山
出来ました



そして生傷が絶えません

2021 年 3 月からこの家をいじりはじめて 9 か月がたちました

ぼちぼち壊しやキッタハッタをやるうちに自分の実力や体力的な限界などがわかってきて、少々計画の見直しの必要性を感じています



当初キッチンを移設する部分は土間にして、柱を 3 本抜いてなんて言ってましたが、なにしろ土間仕事は体力勝負　そして柱はりの躯体に手を付けるのはかなりの覚悟がいるというのを身に染みてわかったこの 9 か月でした

これまで現場でかるーく柱抜きましようかなんて言っていましたが、大工さんは私の言葉をどんな気持ちで聞いていたのか、思いかえすと少しさむくなります

それでもこのコロナ過のなかぶじに歳の瀬をむかえ新年の準備ができることにひとまず安堵しているところです